

○雨つつみ

作詞：読み人知らず 作曲：上野紘史 編曲:上野紘史 演奏:はるひ
のwithDODOWKA

「ひさかたの 雨も降らぬか 雨障(あまつつ)み 君にたぐひて この日暮ら
さむ」(読み人知らず)

▷巻4-520

(ひさかたのあめもふらぬか あまつつみ きみにたぐひて このひく
らさむ)

現代訳：天から雨よ降ってくれないか、そうすれば雨で出かけずに あ
なたに寄り添って今日一日過ごせるのですから

解説：「ひさかたの」は天、雨、月など空に関する言葉を導く枕詞

「雨障み」(あめつつみ・あまざわり)雨に降りこめられて外に出られ
ず、とじこもっていること。

大伴女郎作「雨障(あまつつみ)常(つね)する君はひさかたの昨夜(きその
よ)の雨に懲りにけむかも」

=いつも雨を口実に来てくださらないあなたは、お会いした際の昨夜の
雨に濡れて懲りてしまったのでしょうか。

の歌に対して後世の人が答えて詠ったと言われている。